



一般社団法人 日本ユング派分析家協会 (AJAJ) 主催
第 11 回 日本ユング心理学研究所 研修会 (2023 年度) のご案内

日時 2024 年 3 月 3 日 (日) 12:00~16:45 (受付 11:30~)

会場 京都リサーチパーク西地区 4 号館 (京都市下京区中堂寺粟田町 93) / Zoom

ご挨拶

今年で 11 回目となる AJAJ の研修会を開催させていただきます。多くの方にご参加いただくために、今年度はまだ、オンサイト (現地会場) とオンライン (Zoom) の二つの受講形態が可能なハイブリッド形式での開催となります。

本年度は全体講演として、老松克博先生に「私とユング心理学—折口信夫の傍 (おもかげ) を追って」という題で、お話いただくことになりました。ユング派分析家として長年にわたり独自の視点でさまざまな提言をされてこられている先生の、満を持してのご講演となります。ユング心理学を学ぶ者はそれぞれ独自の道を行くこととなりますが、その道のりの中での先生の折口信夫との大事な出会いについて貴重なお話を伺えることと思います。ぜひ多くの方に聴いていただき、ご自分をも振り返る機会になってくれたらと願っております。

全体講演に引き続いて分科会が 6 つ、基礎コースが 1 つ用意されております。ユング心理学を基礎から学んでみたいと思われる方、もっと知りたいと思われる方、さらに臨床的な理解を深めたいという方も、学びの機会として、ぜひ奮ってご参加ください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

2024 年 1 月吉日

一般社団法人 日本ユング派分析家協会 (AJAJ)
会長 豊田 園子

<開催要領>

1. 開催形式 (オンサイト・オンライン参加)

- 会場にご来場いただく「オンサイト」参加と、Zoom を使用して視聴いただく「オンライン」参加を選択可能なハイブリッド形式での開催となります。
- 講師および事例発表者は原則オンサイト (会場) です。

2. 定員 180 名 (定員に達し次第、受付締切)

3. 参加資格：守秘義務を負い得る、かつ、以下いずれかの条件を満たす方

- ① 日本ユング心理学研究所の登録会員・聴講生・候補生
- ② 心理臨床の実践に職業として携わっている方
- ③ 臨床心理学を専攻する大学院生

4. 参加費（10%消費税込み）

- ①一般 6,600円 ②登録会員 5,500円 ③聴講生・候補生 4,400円

※②③は、それぞれ日本ユング心理学研究所の登録会員・聴講生・候補生、それ以外は①一般となります。

5. 研修内容

(1) 全体講演

時間 12:00~13:30（受付 11:30~）

会場 京都リサーチパーク西地区4号館2階・ルーム1

テーマ 『私とユング心理学—折口信夫の倅（おもかげ）を追って』

講師 老松 克博（大阪大学大学院）

概要 不勉強を棚に上げて言うてはいけませんが、正直、私にとってユングは難しい。拙い分析家資格論文の執筆時からつい最近まで、私を何度も窮地から救い出してくれたのは折口信夫だった。同時代人のユングと折口は、人間の心をかたどる神々の闘争に注目し、深層に揺曳する古代人の姿を見通すなど、持論がわりと似ている。参照すれば霧が晴れる。しかも折口は、自身の人生と学説と文学作品を通して、愛着の問題、発達系のあり方、SOGIの苦悩を理解するためのヒントを遺してくれた。その汲めども尽きぬ泉の水をたとえ一口なりともともに味わってみたい。

(2) 分科会／基礎コース

時間 13:45~16:45

以下の7グループ（分科会6・基礎コース1）に分かれて行います。

***事例提供ご希望の方は、お申込の際、その旨と事例概要（100字程度）をお書き添えください。**発表の可否につきましては、申込締切後、事務局よりご連絡いたします。また、発表者は原則オンラインでの参加となります。

【第1分科会】 猪股 剛（帝塚山学院大学） *この分科会はオンラインのみ参加可能です。

『臨床で夢をあつかう際のさまざまな問い』

この分科会では、C.G.ユング『夢分析の実践的な有用性(GW.16)』、『パウリの夢』、およびW.ギーグリッヒ『夢と共に作業する』の「第八章:種々雑多な問い」を参照しながら、臨床現場で夢を扱う際に生じるさまざまな問いを振り返り、整理し、考えてみたい。夢に対する基本的な姿勢から、夢をあつかう準備や、解釈に関する考え方、ユング派の教科書に書かれている夢に関する事項の再検討を行う。当日の三時間は、前半と後半に分けて、それぞれ「1.

講師からの講義(50分)、2.ブレイクアウトルームを使った参加者同士の話し合い(15分)、3.質疑応答(25分)を二回行う形で進めたい。(注:このような形で進めるため、本分科会はハイブリッドではなく、全面オンラインで開催する)。

【第2分科会】 河合 俊雄 (京都こころ研究所)

『抑制の強い子どものプレイセラピー』

チックなどのように衝動がコントロールできないのとは逆に、最近の抑制的な生き方と意識の浸透にも関連して、選択性緘黙、吃音などのように症状の背景に強い抑制がある子どももセラピーによく訪れ、ASD と間違えられることも多い。そのような子どもとユング派のプレイセラピーはどのように関わるのか、イメージ表現にはどのような特徴があるのか検討したい。(事例提供者:上田 さつき氏)

【第3分科会】 田熊 友紀子 (代官山心理・分析オフィス)

『女性性と『立ち上がる』ということ』

人の発達や心の発展過程において、主体の「成立」・自我の「確立」・親からの「自立」など「立」という字に象徴されるように、さまざまな「立ち上がり」の局面が訪れる。この「立ち上がる」ということについては、現代においては女性のみならず男性においても同様に様々な困難を伴う。この分科会では、「立ち上がる」こととはいかなることかについて、イメージからとらえ直しを試みる。また青年期女性の事例を検討することでより臨床的に理解を深めたい。(事例提供者:上原 拓海氏)

【第4分科会】 田中 康裕 (京都大学)

『心理療法における「地上に降り立つ」ことの意味』

ギーゲリッヒは、「神経症は、上方の雲のなかに、月の上に、すなわち、単なる潜在能力の領域、夢想の国に居を構える」と述べた。このような意味で、心理療法の場において、われわれは「地に足着かない」クライアントと出会うことが多い。そのことは、その個人の存在の不安定さ・不確かさだけでなく、生産性や創造性をも阻害し、多様な精神・身体症状の源ともなりうる。この分科会では、城谷仁美氏に事例提供してもらい、心理療法において、地上への「降下」はいかになされるのか、そのことで、いかにその大地を自らのものとし、そこに豊かなものの「発生」を実感しうるのかを検討したい。(事例提供者:城谷 仁美氏)

【第5分科会】 田中 理香 (スタジオ リカ クリニック)

『治療上の陰性感情との向き合い方』

心理臨床では、様々な形態で陰性感情に出会う。クライアントの語りの中、クライアントの人間関係、また治療者との関係においても、様々な形で陰性感情は表現される。その混沌とした陰性感情を言語化して、情報化することは治療上重要であり、またユングの言うところの影(シャドウ)を統合する過程としても個人の内的成長をもたらす。この分科会では、演者が長年開催してきた『陰性感情トレーニング』について説明し、発達性トラウマを抱えるクライアントなど困難例への対応と、治療者自身のメンタルヘルスの向上を目指す。

【第6分科会】 町澤 理子（国立国際医療研究センター 国府台病院）

『Dance of Three: 治療者のためのボディーワークの体験』

AI、VR の日常化やコロナ禍での対面制限という体験は、私達に身体的現実への着地や非言語的コミュニケーションの重要性を再認識させた。Dance of Three はマリオン・ウッドマンらが始めた Body Soul Rhythms の基本的エクササイズであり、身体の動きによる能動的創造法とされるオーセンティックムーブメントを基にしている。参加者は自他の自発的創造的インパルスに開かれるとともにその扱い方を身体的に学ぶ。また内的リソースに触れ自己治癒力を高めることにもつながる。

当日はクレヨンか色鉛筆を持参され動きやすい服装と履物でご参加ください。

【基礎コース-1】 吉川 眞理（学習院大学）

『ユング派分析家による夢分析の実際』

ユング派分析家は、どのように夢に耳を傾け、どのように理解し、その理解をどのように来談者と共有するのかについて、マレイ・スタイン氏の面接場面を再現した短編フィルムを素材として学び、討論します。（当日は短編フィルムの字幕邦訳を準備いたします。）

文献：“General Aspects of Dream Psychology” in CW 8

“The Practical Use of Dream Analysis” in CW 16

“On the Nature of Dreams” in CW 8

ユング 「I 夢解釈の方法論について」 子どもの夢 I 人文書院

6. 参加申込

当協会ホームページ（ <http://www.ajaj.info/kenshukai.html> ）、もしくは右記 QR コードの申込フォーム（Google Form）よりお申し込みください。お申込が完了しましたら、フォームにご入力頂いたメールアドレス宛に自動返信メールが送信されます。（Google Form より「AJAJ 第 11 回研修会お申込みフォーム」というタイトルで届きます。）以上でお申込完了となります。原則、申込後のキャンセルは受け付けません。



*自動返信メールが届かない場合は、AJAJ 研修会事務局（ kenshu@ajaj.info ）までお問い合わせください。

申込締切：2024年1月28日（日）

*これ以降、フォームからのお申し込みはできません。

7. 参加費振込

お申込後、**2024年2月9日（金）までに**、以下口座へ参加費をお振り込みください。

※事務局から請求に関するご案内はございませんのでご注意ください。

＜振込先＞ 三井住友銀行 京都支店 普通 7908843

一般社団法人 日本ユング派分析家協会

*お振込みは、必ず本人のお名前をお願いします（異なる場合は事前にご連絡ください）。

*納入された参加費はご返金できませんのでご了承ください。

8. 研修ポイント

全体講演と分科会の両方に参加された場合、日本臨床心理士資格認定協会の臨床心理士教育・研修規定別項第2条(4)により、一般参加2ポイント、事例発表者4ポイントの取得となります。

9. 研修証明書

研修証明書をご希望の方は、メール（ kenshu@ajaj.info ）にてご請求ください。

10. Zoom 情報

各分科会の会場および Zoom 情報につきましては、開催日3日前までにメールにてお知らせいたします。

11. アクセス

<電車>

JR 嵯峨野線（山陰線）2 駅（約 5 分） 丹波口下車 西へ徒歩 5 分

<バス>

京都市営バス 73、75、83、86 号系統（約 13 分）「京都リサーチパーク前」より徒歩 5 分

京阪京都交通バス 21、21A、27 号系統（約 13 分）「京都リサーチパーク前」より徒歩 5 分



<研修会に関するお問合せ先>

一般社団法人 日本ユング派分析家協会 AJAJ 研修会事務局

〒604-8126

京都市中京区高倉通蛸薬師下る貝屋町 558 澤田ビル 2 階 201 号

E-mail : kenshu@ajaj.info (研修会専用アドレス)